

協業組合徳島印刷センター

顧客満足度と従業員満足度を第一義と考えて経営努力を積み重ねると共に、地域に密着した印刷会社として、社会に貢献していきたい！

協業組合徳島印刷センターでは、顧客満足と従業員満足の向上を目標に印刷業務全般を提供しています。特に、官公庁の受注確保に向けて受注体制を整備し、「官需適格組合」の証明を取得し、県下の官公庁の受注を主力として営業を展開しています。

また、寄付活動・清掃活動等を毎年実施するなど、積極的に地域貢献活動を行っています。今後も、相互扶助の精神に基づき、経営の合理化、技術の高度化に邁進するとともに、クライアントの皆様にも信頼され、地域で親しまれる印刷会社として精一杯の努力を続けています。

《組合概要》

主たる業種 印刷業

従業員数 30名

組合員数 3名

組合員の資格 印刷物の生産の事業の全部又は一部の事業を営む中小企業者

設立年月日 昭和47年12月22日

設立後の経過年数 49年

出資金 2,000万円

事業内容 商業印刷物であるチラシ、パンフレット、ポスター、封筒、はがき、冊子等の企画、印刷及び製本

組合の主な施設等

①土地 1,205.43㎡（所有）

②事務所 160㎡（所有）（鉄骨2階建）

③工場 1,000㎡（鉄筋・鉄骨3階建）

④設置している主要な印刷機械等

オフセット印刷機8台、製本関連機6台、製版関連機8台、プリプレス関連PC20台

⑤車両 9台



1. 組合等設立の背景と目的について

印刷業界は、昭和46年に中小企業近代化促進法に基づき、特定業種の指定を受け、事業の適性規模の達成、技術革新の導入による設備の近代化並びに高度化技術を核とする構造改善事業を推進することとなりました。

協業組合徳島印刷センターは、こうした時代の要請を機に昭和47年12月設備の近代化と従業員の福利向上を図るため、徳島市内で長年事業を営んでいた印刷会社4社が集まり、全ての事業を統合した全部協業により組合を設立しました。

印刷業界でデジタル化が進む昭和57年頃からは設備・技術ともに最先端の印刷会社を目指し、その対策に向けた研究を開始しました。平成6年には、徳島市問屋町に鉄筋3階建ての社屋でプリプレス部（企画・デザイン・編集・組版・校正・刷版までの工程）の充実を図りました。

現在も相互扶助を基本とした、組合設立時の精神を忘れず、経営の合理化、技術の高度化に邁進するとともに、顧客から信頼され、親しまれる印刷会社を目指して経営努力を積み重ねています。

2. 組合の沿革

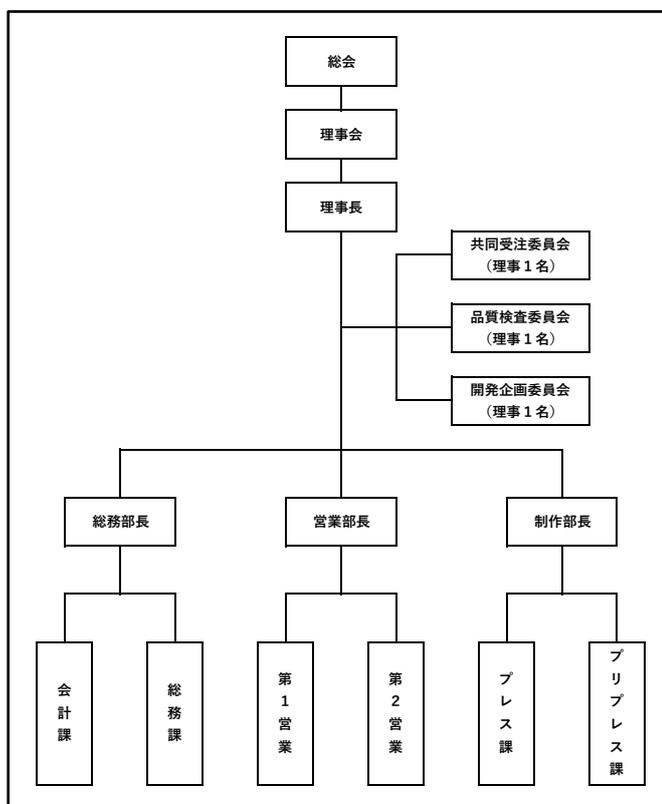
昭和57年	5月	官公需適格組合証明取得
平成7年	11月	徳島県中小企業団体中央会会長表彰
平成16年	7月	ISO14001認証取得
平成16年	12月	ISO9001認証取得
平成17年	11月	全国中小企業団体中央会会長表彰
平成19年	6月	プライバシーマーク取得
平成22年	3月	徳島県知事表彰（はぐくみ支援企業表彰）
平成24年	8月	くるみんマーク取得
平成26年	9月	徳島県知事表彰（健康づくり推進活動功労者表彰）
平成26年	11月	中小企業庁長官表彰
平成28年	4月	エコアクション21認証取得
平成28年	12月	健康事業所宣言認定取得
平成29年	6月	（一社）日本グラフィックサービス工業会 技術優秀認定証
平成29年	12月	消費者志向自主宣言
平成30年	10月	MS認定制度ダイヤモンド認定取得
令和3年	3月	第45回とくしま出版文化賞特別賞

3. 共同事業の実施体制（役割分担）について

毎週月曜日の営業会議で営業担当者が進捗状況の報告を行い、他の従業員の仕事を助けられているか等、内部連携に関する情報の交換を行っています。

制作部長が営業部長を兼任し、営業担当者との間で常に進捗管理を行っています。また、制作部が営業担当者との文字、寸法、色調等の点検項目の打ち合わせを行い、プリプレス課が編集・誤字・脱字を点検し、プレス課が脱字・落丁・汚れの点検を行っています。

直面する諸問題に対しては、理事会を随時開催し対応を検討しています。



4. 共同事業等の取り組み内容

(1) 官公需共同受注事業の推進

当組合では、設立当初から官公需受注を推進しており、官公需受注の割合は売上の約60%を占めています。組合の営業戦略として新規開拓を官公庁に重点的に絞ることとし、安心して仕事を依頼してもらえるようにするため、官公需適格組合の取得を考え、昭和57年5月に四国通商産業局から「官公需適格組合」の証明を取得し、徳島県下の官公庁からの受注を主力に営業を展開してきました。証明を取得して実績を積み重ねることで、従業員は仕事に対して誇りを持つようになり、生き甲斐をもって働いています。創業以来今日まで、従業員の退職は自己都合であって解雇者は一人も出しておりません。



官公需適格組合証明の取得後、組合の信用は一段と増し、またデジタル化を早期に予測したことも相まって業績は向上してきましたが、その行方は必ずしも楽観できる状況ではないと考えています。

(2) 環境経営の推進

組合では、美しい地球、美しい自然を未来に引き継ぐことは、今に生きる私達に与えられた大きな使命であり義務であると考えています。自然破壊、二酸化炭素の排出をはじめとする地球温暖化現象の発生など、様々な環境破壊が見られる中、グリーン調達など企業としてこの問題にどのように取り組むかが課題となっており、特に印刷業という関係上、用紙＝森林資源の維持に努めるために、用紙の節減を第一の目標に掲げ環境に配慮した経営を推進しています。

「自然と人に優しい企業」を目指すため、平成16年7月には「ISO14001」（環境）、同年11月には「ISO9001」（品質）を取得しました。その後、平成28年4月には環境に配慮した対応を進め、地球環境保全に貢献するため「エコアクション21」（環境）を取得し、環境保全に向けての目標を掲げ、環境経営を実践しています。

環境経営の推進により、産業廃棄物の減少・リサイクルへの意識が生まれ、用紙使用量の節減や廃棄物の削減が図られ、従業員にも環境に配慮する意識が高まりました。



(3) ブランド力の向上の推進

組合のブランド力の向上のため、平成19年6月には個人情報保護のマネジメントシステムを構築していることを証明した「プライバシーマーク」（個人情報）を取得しました。「ISO9001」、「エコアクション21」と併せ、平成29年12月に品質・環境・個人情報保護の3つの安心をお届けする「消費者志向自主宣言」（消費者庁）を行ってきました。



(4) 健康経営の推進

組合の従業員30名のうち、23名が10年以上の勤続者となっています。従業員それぞれが様々なライフステージを経験しながら長く働くことができるように、平成21年12月には「徳島県はぐくみ支援企業」認定、平成24年8月には徳島労働局から「くるみんマーク」を認定、平成28年12月には全国健康保険協会徳島支部から「健康事業所宣言認定証」を受けるなど、子育てに優しい職場環境づくりに積極的に取り組んでいます。

「社員の健康＝企業の健康」を健康づくり経営の目標に掲げ「健康な家庭の源」を実現すべく、組合敷地内の禁煙など受動喫煙防止対策や「お花見」、「社員慰安旅行」、「社員バレーボール大会」の実施などの健康づくり行事を実施することで、日々の活動に専念できるようになっています。



5. 社会貢献・地域貢献について

(1) 各種団体への寄附

世界の子どもたちの命と未来を守る活動を行う「ユニセフ」、紛争・災害・病気などで苦しむ人を救うためあらゆる支援活動を行う「日本赤十字社」、地域福祉活動や民間社会福祉活動を支援する「徳島県共同募金会」、世界の水・衛生問題を解決するために活動する「NPO法人ウォーターエイドジャパン」への寄附を通して社会貢献活動を行っています。

(2) 団地内清掃活動

毎月1回、団地内清掃活動により団地内の各所のゴミ拾いや清掃を行い、環境美化活動に協力しています。

6. 組合設立・組織化の効果・メリットについて

官公需適格組合証明を取得後、官公庁から絶大なる信頼を獲得しており、国の機関や県及び市町村、学校等広範囲にわたり安定した実績を上げています。常に顧客満足度の向上を目指し、経営努力を積み重ねるとともに積極的に設備投資を行い、先進技術を取り入れることにより、地域に密着した組合として高い信頼を得ています。日々の営業や難しい注文に対応することで培われた高い信頼度は受注獲得に対する大きな力になっています。

協業組合化の成功のポイントは、会社間の格差を考えず、役員報酬、職員給料を4社とも同じにしたこと、設立時に4社に大きな借入金が無かったことが考えられます。

7. 今後の方向性について

2015年9月、国連において国際社会が2030年までに持続可能な社会を実現するための重要な指針として、SDGs（持続可能な開発目標）が採択されました。このSDGsは、環境問題や健康問題、人権問題が大きな柱となっています。当組合では、SDGsと絡めた事業展開を行うなど、こうした良い潮流に少しでも乗っていくことが経営を発展させ、長く続けていける勘所の一つと捉えています。



現在日本は、超高齢化社会を迎え「社会保障費の増加」「生産年齢人口の減少」といった問題に直面しています。また、人生100年時代が到来するとも言われている中で、当組合では、健康で働ける期間をより長くし、すべての社員がいきいきと働きがいを持って働くことが、組合の経営理念の一つでもある「高品質なサービスの提供」につながるという考えのもと、社員の健康管理を経営的視点から捉え戦略的に実施しています。

加えて、エコアクション21取得による環境問題への対応やユニセフ、日赤、共同募金への寄附などを通して、目の前のこと、手の届く範囲のことを一つずつ積み重ねて、取り組んでいきたいと考えています。

印刷業界を取り巻く環境や技術も今後大きく変化していくと思われませんが、「人と人との繋がり」が経営の根幹と考え、心と心のコミュニケーションをいつまでも大切に事業活動に取り組んで参ります。

8. 中央会を利用して良かった点

当組合の紹介・PRをはじめ、各種研修会や異業種交流会の開催、情報の提供などだけでなく、「官公需適格組合」の申請補助や登記申請の支援、また「ものづくり補助金」や「経営力向上計画」、給付金や助成金のサポートなど、いつも大変お世話になっており感謝しております。

9. 中央会担当指導員のことば



吉川主事

協業組合徳島印刷センターは、清掃活動等の地域社会貢献活動や環境経営・ブランド力向上の推進などの様々な取り組みを長きに亘り活発に行われています。これも理事長がリーダーシップを発揮され方向性を示し、組合役員及び従業員が一丸となって企画・運営を行っているため、これらの取り組みの持続化・定着化が図られていると感じています。

また、特に注目すべきは、「健康は一生の財産である」を目標に掲げ、従業員の健康づくりに寄与するために様々な企画・支援を行っていることです。このことにより、従業員一人一人の健康維持に貢献したことはもちろん、組合全体の業績の向上に繋がっていると感じています。このように地域社会貢献活動や従業員の健康づくりに対する取組を実施することは、他の組合の模範となるものだと思っています。

組合のPR

最短納期、安心価格、品質保証の3つの安全をお届けします。最新設備と経験豊かなオペレーション技術が最高の状態で融合し、今できる最高（ベスト）をお届けします。

組合代表者（役職・氏名） 理事長 多田 哲也

住所 徳島市問屋町165番地

URL <https://www.tpce.net/>

電話番号 088-625-0135

FAX番号 088-622-0734



多田 哲也 理事長